熊谷市立大原中だより　　平成３０年度　５月１１日発行

われらの中学ここにあり

学校教育目標「　思いやりのある生徒　自ら学ぶ生徒　心身を鍛える生徒　」

人権旬間の講話　（5/8）

校　長

みなさん、おはようございます。昨日から人権旬間です。一人ひとりの人を大切にするというあたりまえのことですが、この機会にあらためて考えてみたいと思います。大原中学校の学区では、過去にたいへん悲しい事件や事故が起きました。大原中学校の生徒は、人の命の大切さを誰よりもよくわかっていることと思います。かけがえのない自分の命、友だちや他の人の命の大切さを、この時期に改めてみんなで確認しておきましょう。

そして、学級委員の任命式にもお願いしました。いじめのない学校生活です。１年１組は大丈夫ですか？２年１組は大丈夫ですか？３年１組は大丈夫ですか？今、それぞれに「はい」と言う元気な返事が聞こえて安心しました。引き続き、いじめのない学級づくりをお願いします。

今日はせっかくの機会ですから、先生方にも宿題を出しておきました。他の先生からも人権旬間のお話をしていただきましょう。お話を聞いてみたい先生がいますか？
（山田先生・笠原先生・久保先生・横田先生・関根先生が生徒からの指名によりお話をしていただきました。）

＊人権旬間は１８日まで続きます。この間人権作文の作成やポスターの募集、人権に焦点を当てた道徳の授業や学級活動等に取り組みます。

教育活動が本格的に始まりました

新しい友だちや先生方にも慣れ、授業や部活動、学校行事（修学旅行・大滝林間学校等）が本格的に動き始めました。特に１年生にとってはまだまだ慣れない中学校の生活です。昨日と今日も「気にせずに色のついた運動靴をはいて登校してしまいました」「朝練習があり、ワイシャツを忘れてしまいました」と泣きそうな顔で声をかけてくる生徒もいます。

悩み事や新たな不安が生まれるのもこの時期です。どうぞお気軽に担任の先生・部活顧問の先生にご相談ください。学校には相談員さんやカウンセラーの方もいます。

学校運営協議会が開催されました　～コミュニティ・スクールへ～

近年社会環境や学校が抱える課題が複雑化・困難化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。子どもや学校が抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠であるとされています。

こうした実現を図る上で、これからの学校は「開かれた学校」からさらに一歩踏み出し、地域でどのような子どもを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが必要です。このコミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり」に有効な方法です。コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校を指し、協議の内容としては、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、意見を述べることができます。本校では今年度から設置し、昨日第１回を開催し、本校の現状と課題についてご協議いただきながら、今年度の校長の基本方針をご承認いただきました。今後正式な会議は、第２回目を１２月、第３回目を３月に予定していますが、６名の委員の方々には日常の授業や教育活動も参観していただく予定です。

委員の皆さまについては、昨年度の学校評議員制度からの継続でお願いした５名の委員さん、鶴間　信好　様、石井　操　様、飯田　健次　様、谷澤　泰隆　様、高橋　純子　様と、新たに前ＰＴＡ会長　高田　政幸　様にお願いしました。委員の皆さま一年間よろしくお願いいたします。

（あくまでも学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長に代わり学校運営を決定・実施するものではありません。）

２０キロハイクの見直しについて　　校　長

数年にわたり本校の行事として実施してきた２０キロハイクですが、実施を見合わせることとしました。この間多くのＰＴＡ役員・保護者・地域の皆さまにご協力をいただきましたことに、深く感謝申しあげます。理由は２点あります。

１点目ですが、当初の目的は、妻沼の聖天様が国宝となり生徒に見せる機会を与えることにあったようです。市内でも先進的な取組でした。しかしその後、市から毎年市内の中学２年生にバスで国宝見学を行う事業が実施されるようになり、その必要性がなくなりました。学校運営協議会でも説明したところ、当時を知る委員からは、荒れていた学校を立て直すひとつの手段として、あるいは生徒・保護者・教員が話しながら歩き、よき思い出づくりのために始められた行事であるとのお話も伺いました。当時の学校の状況を心配された多くの保護者と地域の方々の熱意と協力の賜物であったと思います。

２点目は、昨年の２０キロハイク実施中に生徒の目前で、妻沼のスーパーカスミ付近の交差点において、自動車２台の交通事故が発生しました。１台は歩道上を乗り上げ電柱に衝突して停止しました。私も一報を聞き直後に現場にかけつけました。幸いにも被害を受けた生徒、保護者、教職員はいませんでしたが、生徒の集団が教員と信号待ちをしており、あと数秒信号が変わるのが遅かったら、生徒と教員が横断歩道を渡り、そこに車が飛び込み大きな被害が生じていた状況でした。

また、ボランティアでの交通指導に出ていただいた方もたいへん少なくなりました。学校運営協議会の中でも、昨年度はＰＴＡ主催のあいさつ運動等呼びかけてもなかなか人が集まらず、保護者の方も忙しくなり、多くの学校行事に参加するのはたいへんなのでしょうとのお話もありました。今後そうしたボランティアの方が一時的に増えたとしても、交通量のある一般道路を集団で生徒を歩かせるには危険が大きく、学校行事としての存続は難しいとの判断をいたしました。その他にも実施直後に、「事前に健康診断を受けさせてほしい。」「様々な生徒がいるので、すべての生徒が喜んで参加できる行事にしてほしい。」等のご意見も保護者の方から寄せられました。

今後も学校では、生徒の安全を第一に、学習指導要領に基づく授業の実施と学力日本一を目指す熊谷教育を推進してまいります。学校行事につきましても、引き続き様々な行事がありますので、よき思い出づくりと絆づくりに努めてまいります。それぞれの皆さまには、在学中の思い出やご家族への思いがあり、校長としてありがたく思います。同時に、時代は日々変化し、生徒たちの未来に対しても重い責任を感じています。新たな学習指導要領の実施、新たな大学入試制度への対応、グローバル化や人工知能の進化が進むと言われる中で、子どもたちの未来に向けて教育活動を見直していくことや、授業を充実させ、一人ひとりの生徒の進路の実現につなげていくことが重要な責務であると考えております。様々なお立場でのご意見はあるとは思いますが、今後とも皆さまのご理解とご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

５月のこれからの予定

１４日（月）県北部教育事務所と熊谷市教育委員会による合同訪問
１６日（水）３年生内科検診・家庭訪問が始まります
１７日（木）歯科検診・家庭訪問
１８日（金）１年生知能検査・眼科検診・家庭訪問
２１日（月）２年生内科検診・尿検査２次・家庭訪問
２２日（火）生徒朝会・尿検査２次・家庭訪問・非行防止教室（５・６時間目）
２３日（水）通信陸上競技大会市予選　ＰＴＡ第１回本部役員会議
２５日（金）生徒総会
２９日（火）～３１日（木）**３年生　京都・奈良方面修学旅行（２泊３日）**
２９日（火）　　**２年生　国宝見学９時～**

６月の予定

５日（火）全校朝会
６日（水）～　７日（木）**２年生 大滝林間学校（１泊２日）**
１１日（月）～２９日（金）教育実習開始です（社会科と体育の２名が実習します）
１２日（火）～１３日（水）**前期中間テスト**
１４日（木）耳鼻科検診
１９日（火）生徒朝会
２１日（木）２２日（金）２３（土）学校総合体育大会熊谷市予選の中心日です
２７日（水）学校総合体育大会市予選（陸上）
２７日（水）～２９日（金）フリー参観です　＊生徒用名札の着用をお願いします
３０日（土）ＰＴＡの資源回収が予定されています　合唱部石原小学校訪問